

6. 旅の写真展 2017

国際関係学科「旅の写真展 2017」開催報告

2017年11月、愛知県立大学長久手キャンパスにて、外国語学部国際関係学科の学生を中心に、国内外の訪問先で撮影してきた写真のパネルを作成・展示する「旅の写真展 2017」が行われた。2011年以降、秋の恒例行事となり、今年で7回目の開催となる。

【とき・ところ】2017年11月15日（水）～12月6日（水）長久手キャンパス H棟地下ホール

【展示作品数】36点（20人の学生・教員による13か国での撮影作品）

【出展作品の撮影地】日本（北海道、静岡、山梨、香川、岡山、広島、新潟、愛知）、アメリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦、スペイン、フランス、台湾、ロシア、インド、ベトナム、オーストラリア、フィリピン、カナダ

■主催者・協力者

【主催】国際関係学科「旅の写真展 2017」実行委員会（国際関係学科の学生たちにより構成）

【サポート】藤倉哲郎（国際関係学科・講師） 【協力】愛知県立大学多文化共生研究所

■成果と展望

昨年度の「国際関係学科フィールドワークフェスタ 2016」（注1）を経験し、本年の開催にも意欲的であった学科2年生を発起人に「旅の写真展」を実施した。2年生を中心とする実行委員たちが試行錯誤しながらも実現することができた。何かと忙しい学生を巻き込むことに、呼びかけ人学生は苦心したこともあり、昨年から出品規模は大きく縮小した。作品数36点、出品者数20人を数えた。

成果として、国の内外を問わず、旅先で出会ったり感じたりしたことを、学生たちが表現することにより、新しいものとの出会いをもとめる好奇心を高めあったこと、出品呼びかけに応じる他学年学生との交流の機会となったこと、国際関係学科の特色・魅力を発信できたことなどが挙げられる。

本企画は2011年以来続く学科の恒例行事となっており、地域での大規模な写真展の開催（昨年6月於イオンモール常滑）、オープンキャンパスの学科紹介での写真展示および絵はがき作成（例年8月）、国際関係学科専門科目「プロジェクト型演習」（2年生担当）という形での教育実践活動へと広がってきた出発点でもある。今年度の企画を経験した学生が中心となって企画運営能力をさらに磨きつつ、あらたに入学してくる学生も巻き込みながら、恒例行事として受け継がれていくこと、さらに他の学生自主企画への意欲が醸成されることが期待される。



文責：藤倉哲郎（国際関係学科）

実行委員：山口明里、下山むつみ、多田隼人、清水優花、鈴木愛理、吉田智泰、山田哲史、岩田清花
橋本茉菜、兵藤優紀フェリス、細川美樹、山崎響、渡部汐里、森早貴子（国際関係学科学生）

※行事の詳細は、国際関係学科公式学生ブログでも紹介している。

<http://kendaikokusai2012.blog.fc2.com/blog-entry-331.html#more>

（注1）「旅の写真展」に加えて、旅先からのお土産を持ち寄って、現地体験談を報告しあう「旅の報告会・茶話会」とで構成されてきた（2016年度外国語学部年報参照）。この「旅の報告会・茶話会」は、今年11月29日（水）に予定していたが、諸事情によりやむなく中止した。